

島根大学 関西大学 共同 隠岐調査中間報告

歴史学班

隠岐の溜池築造について……………内藤 正中 (1)

社会民俗学班

トモド名義考……………井上吉次郎 (18)

古代楯と宗教観 (下)……………勝部 明生 (26)

日本史講座(2) 律令時代末期の国家と文化……………横田 健一 (37)

紹介 G. Steindorff, K. C. Seele "When Egypt Ruled The East."……………加藤 一朗 (49)

清水隆久著「近世北陸農業技術史」……………有坂 隆道 (50)

—鹿野小四郎著「農事遺書」を中心として—

史学関係主要雑誌論文目録 (昭和33年1~3月発行分)……………(54)

昭和32年度文学部史学科 卒業論文題目・卒業者名簿……………(51)

「史泉」総目次 (第一~一〇号)……………(62)

古文書学上の用語

文書の成立にともなう用語……………(17)  
文書の形状にともなう用語(1)……………(25)  
文書の形状にともなう用語(2)……………(48)

史泉

第一〇号

## 編集後記

◇本誌では昨秋第七・八合併号で第四回隠岐調査の特集をおこなった。もちろん調査団の本報告は明年刊行される予定であるが、その間いわば中間報告がおのずからできてくる。本号に「中間報告」と銘うつて掲げたものもつまりそれである。本誌ではできる限りこれを収載してゆきたいと思つている。

◇勝部氏の「古代楯と宗教観」は前号にひきつづくもの、別に「補説」が用意されているが、一応この二回で完結するものである。

◇前号に「日本史講座」を設けて横田教授に大へんな御無理を願つたが、本号でもまた時間的に云つてもなから云つても非常な御無理を申して御執筆いただいた。内容は前号につづくものであり、併読を望んでやまない。

◇本号から新に登場した企画は、「雑誌論文目録」の掲載である。今日史学関係のおびただしい論文のすべてを集めることは不可能に近い。それでもずいぶん多くが本号に集められている。この目録に収めたものは千里山図書館三階の研究室および一階の雑誌室に備えつけられたものによつて作成したもので、たとえ重要な雑誌でも現品の備えつけられていないものは掲げなかつた。その点を了解の

うえせいぜい利用されるように願つておく。利用者の立場からいえば、時代別なり、内容別なり、適当に分類・整理した目録の方が便宜だと思ふが、とてもそこまでの余裕はない。この目録をつくるだけでもなかなか骨の折れる仕事である。それに発行後なるべく短時に掲載しようとする、時間的にもとても余裕がないというわけである。

◇今年もまた三月には多くの卒業生を見送つた。まことに感慨新たなるものがある。新卒業生諸兄の今後の御活躍と御多幸を祈つてその名簿や記念すべき卒論題目を掲載した。

◇「古文書学上の用語」は、よくつかわれる用語のいくつかを選んでごく簡単に解説しただけのもの。ほんの埋草がわりで、字教も一々制限があるから適切な解説もできかねる。もし機会があればもう少しだけでもつづけておきたい。「古文書学ノート」とでもならうか？

◇本誌は最初から通号で教えてきているので10号ごとに総目次を付することにした。

◇さて、第9号が一月にでてから約四カ月を経てしまった。いろいろな事情もあつて予定より少し遅れたが、今後はもとへもどつてだいたい隔月刊を履行していく。(有坂記)

◇春休を利用して九州見学旅行を挙行。有坂

助教授および学生10名参加。3月13日21時天皇号にて大阪発、14日9時24分博多着。市内太宰府見学。二日市乗車、20時54分長崎着。一泊。15日長崎見学、諫早を経て、18時半頃神代着、旧鍋島藩邸泊。16日島原・雲仙を経て半島一周、神代再泊。17日午前島原見学、風雨激し。島原湊より有明海を三角に渡り、夕刻熊本着、熊本城見学、水前寺に泊。18日阿蘇に登り、夜別府泊。19日別府見学、久大線にて博多へ戻り、22時40分発さつま号に乗り20日朝約一時間延着6時半頃鹿児島着。市内見学後、桜島に渡り、鹿児島泊。21日10時50分西鹿兒島発高千穂号にて日豊本線經由帰途につく。22日8時30分無事大阪駅に帰着。

### 史泉 第一〇号

昭和三十三年五月三十日発行

百円 千八百

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行 関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

代表者 魚澄 惣五郎

京都市南区東九条西岩本町八

印刷所 大宝印刷株式会社

兵庫史学 第16号(六月刊) 百円

- 兵庫開港をめぐる商社の設立とその構成……………丸尾 京子
- 祭祀と村落構造(下)……………西谷 勝也
- 播磨国山崎発見壺棺……………鎌谷木三次
- 奥丹波の城下村と地侍……………白井 芳郎
- 赤穂藩の上水道(上)……………広山 堯道
- おとめ塚について(二)……………川辺 賢武
- 有馬則頼時代の三田城……………中谷 一正
- 日本の時刻制度(三)……………橋本 万平
- 但馬北村家文書(二)……………山根 森
- 〔歴史断章〕……………笠井・時野谷・永島・藤木・森
- 一五七年(下半年)學術誌掲載兵庫県関係論文一覧
- 〔新刊紹介〕魚崎町誌・三木文庫庶民史料目録2

町部史研究 影部日本史研究 郷部文学部 灘市東灘区 神戸市東灘区 兵庫史学会

仏教史学 第七卷第二号 一三〇円

- 近世タイ仏教の発展……………佐々木教悟
- 慈円と証空……………久木 幸男
- 甲斐国分寺址の研究……………塩田 義遜
- 〈史料紹介〉元興寺極楽坊和合・離別祭文……………堀池 春峰
- 〈書評〉渡辺照宏「日本の仏教」……………仏教史学会同人
- 牧田諦亮「中国近世仏教史の研究」……………酒井 忠夫
- 竹田聰洲「祖先崇拜」……………五来 重
- 京都市中京区 東洞院三条上ル 仏教史学会

ヒストリア 第21号 百円 丁8円

- 難波の主船司……………龍川政次郎
- 平城宮跡出土・土師器並びに須恵器(上)……………釣田 正哉
- 大宮司阿蘇氏における家督制について……………杉本 尚雄
- 在郷町の形成と発展(下)……………脇田 修
- ―河内国石川郡富田林を中心に―
- 大阪周辺在郷町の形成(下)……………中部よし子
- 維新时期における雇傭労働力について……………大林 秀弥
- ―美作国久米北条郡宮部下村大林家の場合―
- 兵庫県尼崎市下坂部字溝平出土の重圈文鏡……………村川 行弘
- 紹介と批評 竹内理三著「律令制と貴族政権(吉田昂)吉永登著「万葉集」(横田健)赤松俊秀著「鎌倉仏教の研究」(藤田香融)宮本又次編「近畿農村の秩序と変貌」(原田敏丸)「大阪地方労働運動史年表」(阿部真琴)「三木文庫所蔵庶民史料目録」(魚澄惣五郎)
- 大阪府吹田市千里山関西大学魚澄研究室内
- または堺市大浜南町二〇三 井上薫方

大阪歴史学会

続日本紀研究 通巻50号(第5巻第2号)別冊 弥永貞三・亀田隆之・新井喜久夫共編 越中国東大寺領庄園絵図(全14図31葉)

- 越中国東大寺領庄園絵図について
- 越中国東大寺領庄園絵図索引
- 天平宝字三年および神護景雲元年越中国東大寺領庄園絵図をできる限り原図の体裁をとどめながら条里制の一坪を一・八センチ平方の率で縮図、謄写刷複製。解説・索引を別冊添付。販価三百円(残部極僅少) 申込みは左記へ!!
- 月刊 続日本紀研究 奈良市尼辻町4の21直木孝次郎方 大阪歴史学会古代史部会内続日本紀研究会
- 月刊 近世史研究 大阪市阿倍野区播磨町西1の16山口之夫方 大阪歴史学会近世史部会
- 季刊 近代史研究 大阪市生野区勝山通5の37勝山荘小山仁示方 大阪歴史学会近代史部会